

準備工

作業中

後片付け

内容	留意事項
- 各雪氷基地の編成表の確認 - 作業打ち合わせ(KY活動)各基地に体制と予報の確認 - 体温測定 - アルコールチェックを全員に実施 - 作業分担・配置の決定 - 作業前の打合せを行う - 資格の確認 - 使用車両・機械・工具の点検	- 編成表の作成時に無資格者が偏らないような編成であるか確認を行う。 - リスクアセスメントによる危険予知訓練の実施 - 各自体調管理を行う - 飲酒運転が絶対にないよう作業を行うこと。 - メンテ雪氷当番からの安全指示事項による - 合図の確認を行う(緊急時に作業を停止させる合図を含む) - 資格者一覧表及びヘルメットのシールと資格証で資格の有無を確認する 安全日誌に確認結果を記録する。 無資格者は作業を行ってはならない。 - 有資格者による作業前点検(レッカー車のフック及び走行車輪、ワイヤーの損傷有無などの確認を行う) - 点検を行い異常が認められた場合は専門修理業者を手配し、修理が完了してから操作をおこなう。 ※飯田HSCはレッカー配置についての指示をメンテに行う。 ※基本、5日前までにレッカー配置の仮依頼を行うが、予報が変わって必要なくなった場合には忘れずにキャンセルを行うこと。 ※想定外の降雪などの場合は、レッカー業者へ連絡を行い調整をすること。 ※配備当日は配備場所の指示を確実に行うこと。 (配置場所にあっては、長時間を考慮して作業員の交代などが出来るよう各ICとしてチェーンベースなどは配備はしない)
- レッカー車はNEXCO指定場所へ待機する - スタック車両・事故車両・故障車の発生	- 本部連絡員は飯田HSCと協議を行い、待機場所を決定し連絡をする。 - 夜間用保護具の着用とする。 - 作業員は資格証を携帯すること。 - 本部連絡員より待機レッカー車へ指示を行う。 - 本部連絡員は規制状況を(簡易規制など)確認し指示を行うこと。(状況によっては雪氷巡回などの同行も検討する) - 吊り上げなどを行う場合は、吊り荷の下へは立ち入らないようにすること。 - アウトリガーを使用する場合は張り出しを確実に行うこと。 - ウインチの使用は車の取り付け金具を確実に取り付けること。 (保険扱いとなる作業は行わない、すべての作業はNEXCO負担とする) - 現場への工具類などの忘れ物のないように離脱する。 - 保険扱いとなる場合は、最も近い排除場所(休憩施設もしくはIC)までの作業とする。
- 体制解除 - 終礼の実施 - 使用機材等の片づけをする	- 体制解除時は忘れずに連絡をすること - リスクアセスメントによる危険予知訓練により実施 - 機材等の損傷等の確認をし翌日の作業に支障の無い様にする

注意事項
- 飲酒運転のないようチェックを確実に行う - 有資格者の確認及び資格書の携帯 - 保護具の完全着用 1人作業の禁止

作業編成(標準)	員数		資機材
責任者	1名		大型レッカー車

安全器具・保護具確認
ヘルメット・反射(自発光)チョッキ
警笛・安全帯